

風と光だより 1月号

睦月（むつき）January

No.77 2021(令和3年)年1月5日発行

<https://kazetohikari.jp/>



オーガニックと  
こだわりの食品



株式会社風と光

横浜市神奈川区鶴屋町2-21-1-8F

TEL:045-316-2020 FAX:045-316-2019

あけまして おめでとうございます

昨年来のコロナ下で迎えた新年、先行きが読みにくい年になるのではないかと考えます。しかし不安定要素を抱えながらも、本年もオーガニック食品の推進に努め、本来の使命を達成するべく努力して参ります。

昨年よりスタートした「カジュアルオーガニック&ヴィーガン」シリーズでは、既に「有機ヴィーガンカップラーメン」「有機カップソース焼きそば」「有機ヴィーガン餃子」「有機ヴィーガンレトルトカレー」を発売いたしました。本年はさらなる充実をはかるべく、春先には新商品をご紹介できるようたいま準備中でございます。

困難な時代ではありますが、本年も一步一步前進をたく考えております。どうか皆様よろしくお願ひ申し上げます。

株式会社 風と光 代表取締役 辻 明彦



## 2021年出展予定・展示会のお知らせ

1月

ブース番号  
No. 1L-02

健康博覧会

<https://this.ne.jp/>

2021年1月27日(水)~29日(金)  
東京ビッグサイト 西1、2ホール&アトリウム  
オーガニック&ナチュラルエリア

2月

ブース番号  
No. 9-108

**SMTS 2021**  
SUPERMARKET TRADE SHOW  
スーパーマーケット・トレードショー  
<http://smts.jp/>

2021年2月17日(水)~19日(金)  
幕張メッセ 9ホール  
(株)五味商店・こだわり食品コーナー



オーガニック

グルテンフリー



ヴィーガン

アレルギーフリー



# 今年もワクワクする **商品** を準備しています！

美味しいと  
家族のみんなが  
笑顔になれる

風と光の商品は、  
1番に **美味しいこと(美味しくないと続かない！)**  
2番に **身体に安心・安全なこと(未来に投資！)**  
3番に **表示内容に正直なこと(正直品質で！)**

自分だけでなく  
みんなに伝えたい  
と思う商品を

## スパイスで免疫力アップ

## 風と光のレトルトカレー

## 好評発売中!

### リピーター続出の「野菜」美容や健康の味方の「豆」



リピートしたくなる  
癖になる味のカレーですね!



有機JAS商品  
ヴィーガン認証商品



2020年12月28日朝日新聞全国紙掲載  
年末年始は家族そろって  
おうちで味わう豪華レトルトカレー  
50選に登場!



オーガニックヴィーガン  
レトルトカレー野菜 180g



国内のレトルトカレーは約3000種類  
オーガニック認証とヴィーガン認証両方  
の認証を取得しているのは  
この商品だけです!

2021年は  
アレルギーフリーの  
レトルトカレーが新登場

## 予告



弊社好評発売中の  
「28品目不使用カレールゥ」を  
使ったグルテンフリーの  
レトルトカレーが誕生!

## 2021年有機加工食品の展望



「コロナ禍」をきっかけとして  
有機農産物や有機加工食品による  
健康促進に期待します。

### ●日本人の健康を守るのは誰?

日本は世界から見れば経済大国でありながら、食料の供給を他国に頼っています。いわゆる「自給率」といった数字ですがここ何年もその数字が大きく変化することはなく、残念ながら先進国では最下位の日本です。

フランスでは自給率を国家戦略として位置づけていて、オーストラリア、カナダ、フランス、アメリカは100%以上を確保しています。また日本は遺伝子組換え原料の輸入が多いと指摘されていることも問題です。国民の自給率と同時に健康を考えるうえで、有機農産物や有機加工食品の拡大に目を向け健康増進に努めてはどうかと思います。

### ●オーガニックの歴史はおなじ

欧米はオーガニック先進国と言われていますが、その歴史は日本を含めほぼ同時に進んでいます。EUは1997年に、日本は2001年に、アメリカはその後の2002年に制度化されました。東京オリンピックは今年2021年に延期されましたが、オリンピックの選手村で提供される選手や関係者の食材はオーガニックが基準です。残念ながら日本の有機市場が熟していないため、国内での調達是不可能なので基準を緩和して提供される予定です。

### ●誰の為にオーガニックなのか?

オーガニック先進国の多くは、政府が自ら何らかの政策をとっているのが成功の秘訣と言えます。日本は食品の安全に対する教育が未熟ではないかと思えます。高度な先端医療があるにも関わらず、病気の人が増加することで年々医療費も増加しています。治す医療ももちろん大切ですが、病気を未然に防ぐ食の指導も大切なのではないでしょうか。日本の有機認証制度は、どことなくコロナ対策と類似していて、有機の産物や製品を規定する日本の法律体系はきわめて分断的なため有効に機能していないような気がします。「コロナ禍」をきっかけとして日本の有機制度が国民に広く拡大し、健康を考える良い材料になると思います。有機制度のさらなる拡充に奔走している人たちに応援しながら、未来の子供たちに安心して安全な食文化と環境を残すことが我々の使命と考えます。

### バックヤードから

「2020年末で姿を消すミネラルウォーターのボルヴィック」のニュース。日本のミネラルウォーターの品質が向上し海外産の輸入量が減少し、水への嗜好が国産のものに変わったことなどが影響していると報じられています。EUでは「本来の成分を失ってはならない」というEU規格があり、殺菌、除菌を禁じています。そのため水源の周囲を自然保護区として、工場、住宅の建設を禁止し、周辺の農家は農薬の使用を禁じるといった厳しい規制があります。ニュースの真偽は別として、国内ではさらに重要な問題が起きています。海外資本が日本の土地を買い漁っていることは、国会でも問題視されているにも関わらず日本政府は重い腰を上げません。国防上の問題もありますが「狙いは水資源ではないか」という声も聞こえます。食品加工において水は食品の一番基本となるものです。政治に影響されないことを祈ります。